

学習・教育目標の設定について

Establishment of Learning and Educational Objectives

内 田 一 徳
Kazunori UCHIDA

1. はじめに

JABEE（技術者教育認定機構）認定審査において、最も重要なのは学習・教育目標の設定であろう。この基準1は基準3～5の前提条件であり、具体性に乏しいためにこの審査評価が悪いと、達成の証明も難しいために自動的に基準3～5の評価も悪くなる。JABEEでもこの学習・教育目標の設定と評価が極めて重要と考え、①米国ローズハルマン工科大学グロリア・ロジャース講師を招いてワークショップを開催し、②基準委員会から2004年度認定審査に関する「自己点検書作成の手引き」補足説明をホームページHPに掲載している。本文では、こうした過去の経験を通して、学習・教育目標を設定する場合のいくつかの注意すべき事柄をまとめるとともに、その設定手順例を提示した。

2. 学習・教育目標とは

学習・教育目標とは、①プログラムが修了生の知識・能力等として保証する学習・教育成果であり、②伝統・資源・卒業生の活躍分野や社会の要求や学生の要望などを考慮した各教育機関の特色ある目標でなければならない。しかも、その内容は教員や学生にわかりやすく、適切で具体的なものでなければならない。なぜならば、この目標を修了生全員に達成させるために、どのようなカリキュラムなどの教育内容や手段、施設・財源を準備し、修了生全員が設定したすべての学習・教育目標を達成しているかを判定できるに十分な証明方法や水準が具体的に明示されていることが必要とされるためである。上述したように、基準1が基準3～5の前提条件であるという理由はここにある。JABEEでは各教育機関が独自の学習・教育目標を設定するにあたって盛り込む必要のある知識や能力の枠組みや範疇を JABEE指定目標として(a)-(h)に示している。これらのJABEE指定目標(a)-(h)は、具体的と言うよりはむしろ抽象的であるが、これは各教育機関が独自の特色ある学習・教育目標(A),(B),(C),・・・を教育内容や評価水準も含めて検討しやすくするためであると説明されている。独自性や特色を出すためには、(a)～(h)の項目分けに従う必要はなく、それぞれの教育機関の掲げる教育目的、理念などに連係した形にまとめる方が望ましいとされている。各教育機関独自の学習・教育目標(A),(B),(C),・・・とJABEE指定目標(a)-(h)との対応関係は表2で、各学習・教育目標の達成度に対する評価方法と評価基準を表3で、達成に寄与する科目配置を目標毎に分類して表6で、主要科目の達成内容と評価方法・基準を表9で、それぞれ示すことになっている（JABEEのHPにある「自己点検書作成の手引き」補足説明を参照）。

3. 学習・教育目標の設定手順例

各教育機関で学習・教育目標を設定する場合の設定手順例を提示してみた。

1) JABEE指定目標(a)-(h)と現カリキュラムでの主要科目の対応表を作成する（もし不足する科

*神戸大学農学部 Faculty of Agriculture, Kobe University
キーワード：JABEE・認定基準・学習教育目標

- 目があれば、教員間でよく話し合っカリキュラムを変更する必要がある)。
- 2) 伝統・資源・卒業生の活躍分野などを考慮して、モデル的なカリキュラム設定を検討する。具体的には、各学年の前後期毎における主要科目の配置と関連性を検討し、JABEE指定目標(a)-(h)との対応表を作成する。
 - 3) 各教育機関や部局の教育理念や教育目標を調査し、2)の結果と連係させて、できるだけわかりやすく評価しやすい学習・教育目標(A),(B),(C),・・・を設定する。
 - 4) 学習・教育目標(A),(B),(C),・・・とJABEE指定目標(a)-(h)との対応関係を示す表2を作成する。必要とあれば、バランス良い配置となるように学習・教育目標を修正する。
 - 5) 1)2)の結果を基に、各目標の達成に寄与する科目配置を示す表6を作成し、関連する学習・教育目標を意識して各科目の達成目標、評価方法・基準を作成する。
 - 6) 学習・教育目標(A),(B),(C),・・・の達成度を評価しやすく、教員や学生にわかりやすい内容となるように、関連する主要科目の達成目標を抽出して細目として列挙する(米国ローズハルマン工科大学ではこの項目をPerformance Criteria(達成基準)と呼んでいる。以下に示すローズハルマンの例を参照するとよい:<https://reps.rose-hulman.edu/production/obj.cgi>)。
 - 7) 各学習・教育目標の達成度に対する評価方法と評価基準を示す表3を作成する。必要とあれば、学習・教育目標を修正する。
 - 8) 学生・両親・卒業生を対象に、学習・教育目標(A),(B),(C),・・・を設定した経緯と背景、表2、表3、表6についてアンケート調査を行い、必要とあれば学習・教育目標を修正する。表2、表3、表6も修正する。
 - 9) 周知するためのガイダンス資料やパンフレットの作成、ホームページへの掲載を実施する。

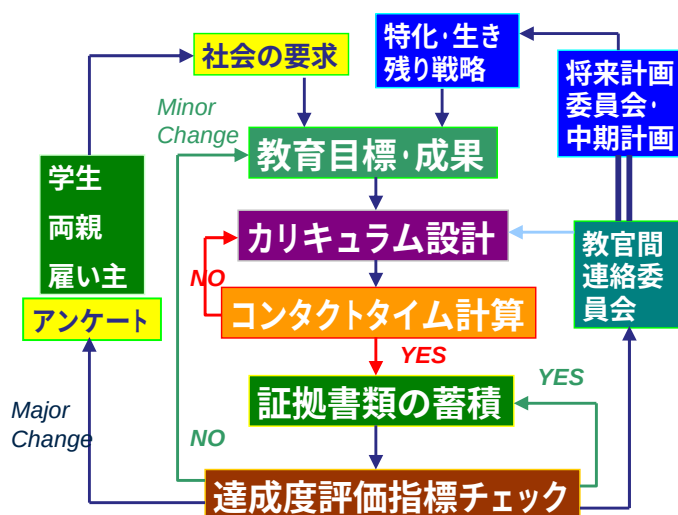


図1 学習・教育目標の設定フロー

4. まとめ

米国技術者認定機構 ABET における審査基準の変遷をみてみると、Input Base 基準から Outcomes Access Base 基準へと変化してきた。JABEE では発足当初から、達成度評価ベースの基準を導入した点に多少無理があったのかもしれないと考える。この JABEE 認定を受けると修了生は自動的に技術士一次試験免除の資格を授与されることを考えると、達成度評価ベース基準が必要な理由が理解できる。しかし、学習・教育目標の設定や達成度評価、特に基準 5(3)総合的達成度評価はかなりむずかしく、さらに経験と模索を積んで間断なき改善を施していく必要があろう。

参考文献：JABEE 自己点検書作成の手引き・認定審査の手順と方法（2004 年版）